## 添付資料：実証申請書フォーム

申請者は以下の申請書を提出する。製品にシリーズがある場合でも、実証する製品についてのみ記載すること。なお、同一申請書に複数の技術は記載せず、技術種類ごとに申請書を分けて提出すること。

実証単位（Ａ）では可能な限り実証単位（Ｃ）の試験を併せて実施することとなっておりますので、以下の実証単位（Ｃ）の注意書きの項目についても記載してください。

※「追加実証」について

　すでに環境技術実証事業で実証試験を行った実証対象技術で、その後技術の改良、変更等があった場合は、その改良、変更の部分だけを再度試験することもできます。

平成30年○月○日

平成30年度環境技術実証事業　ヒートアイランド対策事業分野（地中熱・下水等を利用したヒートポンプ空調システム）における実証対象技術の応募について

平成30年度環境技術実証事業　ヒートアイランド対策事業分野（地中熱・下水等を利用したヒートポンプ空調システム）における実証対象技術として実証を行うことを申請します。申請技術は下表のとおりです。

|  |
| --- |
| ヒートアイランド対策事業分野（地中熱・下水等を利用したヒートポンプ空調システム）申請技術名・型番 |
| ○○○○技術 |

※必要に応じて行の追加・削除を行ってください

団体名：○○○○株式会社　　　　　　　　　　　　　　　印

担当者連絡先

所属部署：

担当者氏名：

住所：

電話番号：

FAX番号：

e-mailアドレス：

（下の様式の記入欄は、必要に応じて広げて記入してください。）

１．技術の名称及び技術開発企業名

|  |  |
| --- | --- |
| 実証対象製品名・型番 | （英文表記もあれば記載） |
| 技術開発企業名（実証申請企業と異なる場合に記載） |  |

２．技術に関する概要

|  |
| --- |
| ※実証項目とは、実証に当たり技術の性能を定量的に確認する項目です。実証が開始された後に実証機関との調整で決定されるものですが、現時点では、実証申請者が考える項目を記載してください。また、実証項目の測定にあたって、試験方法等の提案があれば併せて記載してください。１）技術の仕様・製品データ実証単位（Ａ）では、ヒートポンプ、循環ポンプ、地中熱交換部、熱交換器、室内機等の仕様書、カタログなどがあれば、添付してください。実証単位（Ｂ）では、ヒートポンプの詳細仕様書、カタログなどを添付してください。実証単位（Ｃ）では、地中熱交換井の仕様、Ｕ字管など熱媒循環部の仕様、熱媒の仕様などの仕様書、カタログなどがあれば、添付してください。２）先進性（特徴・長所・セールスポイント）３）技術の原理４）技術の商業化・開発状況・納入実績※商業化段階にある技術であることを明記し、納入実績等を記入してください。５）環境の改善又は保全効果６）副次的に発生する環境影響（地中及び周辺環境への影響等）※技術による副次的な環境問題等（水質、大気汚染、騒音、臭気、振動）が発生する可能性がある場合に記載してください。７）実証試験の実証項目案及びコスト概算８）自社による試験方法及びその結果 |

３．技術に関する詳細な情報等

|  |
| --- |
| １）２．１）を補足する非公開情報 |
| ２）２．２）を補足する非公開情報 |
| ３）２．３）を説明する科学的なエビデンス※技術の原理・仕組みを科学的に説明するエビデンスを記載してください。出来るだけ根拠資料も添付してください。 |
| ４）２．４）を補足する非公開情報 |
| ５）２．５）を補足する非公開情報 |
| ６）２．６）を補足する非公開情報  |
| ７）比較可能な技術※環境技術実証を通じてその性能を実証しようとしている環境技術と比較可能な技術を紹介してください。※性能や環境保全効果を比較するもの、性能や環境保全効果に関する情報も含めて記載してください。 |

４．技術の性能に関する情報

|  |
| --- |
| ※申請により実証を行おうとする項目を含め、技術の性能の定量的な自主公表値と根拠を記載してください。 |

５．技術の性能を裏付ける申請者により作成された試験データと試験手法に関する情報

|  |
| --- |
| ※計測器等の設置状況、仕様、精度を含めた試験方法を記載してください。 |

６．計測器等の設置状況、仕様及び精度

|  |
| --- |
| 1. 実証単位（Ａ）の場合

・実証単位（Ａ）では、システムのタイプにより必要な計測器の種類や設置位置などが異なります。実証要領のp.19～p.31をご参照下さい。・既設の計測器があれば、その設置位置、種類、精度などが分かる図、表などを添付してください。・必要な計測器が設置されていない場合は、想定される設置位置、計測器の種類、設置する位置の管径などのアイデアがあれば、その図などを添付してください。・計測器の精度は注4)をご覧ください。1. 実証単位（Ｂ）の場合

・使用を希望される自社の試験設備、または借用を希望される他機関の試験設備があれば、その試験設備の図、能力、計測器の位置や精度などの図を添付してください。・計測器の精度は注4)をご覧ください。1. 実証単位（Ｃ）の場合

・既設のまたは設置予定の計測器があれば、図などを添付してください。1. 計測器の精度規定

・計測器の精度規定が実証要領のp.49にありますのでご参照ください。・なお、既設の計測器の精度がこの精度規定を満たさない場合は、対応策は別途ご相談いたします。 |

７．実証試験にかかる実証項目案及びコスト概算に関する詳細な情報

|  |
| --- |
| ※実証項目とは、実証に当たり技術の性能を定量的に確認する項目です。実証が開始された後に実証機関との調整で決定されるものですが、現時点では、実証申請者が考える項目を記載してください。また、実証項目の測定にあたって、試験方法等の提案があれば併せて記載してください。※実証項目案から試験にかかるコストを概算し、概ねの上限がわかるように記載してください。 |

８．技術に関連する法規制や規格

|  |
| --- |
| ※技術に関連する法規制や規格がある場合は、該当する法規制等及びそれらを遵守していることの説明を記載して下さい。 |

９．技術の利用者等に関する情報。

|  |
| --- |
| １）技術の稼働・使用条件等２）補修、保守に関する条件等３）通常想定される条件下で技術の機能が維持される期間４）使用にあたり、必要とされる安全衛生上の措置等５）その他 |

１０．その他（特記すべき事項、実証機関が要求する事項等）

|  |
| --- |
| ※特記すべき事項があれば、記載してください。 |

■本申請書に添付する書類（様式自由）

・構成機器の仕様、計測器の仕様・精度、設備構成図等、実証対象製品及び計測器の内容が把握可能なもの。

・施工マニュアル